

週刊 愛知民報

2023年
2月12日
第2620号

発行所 日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
☎(052) 261-3461 (代表)
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

名古屋
市議選
日本共産党

河村市政と正面对決 市民要求実現の推進力

3月31日告示・4月9日投票の名古屋市議選は目前です。「第3極」の河村たかし市長(減税日本代表)がすすめる福祉カットと新自由主義の市政運営に対して、議会のチェック機能を果たせるのはどの党かが問われます。コロナ危機、物価高騰で市民生活は大ピンチ。いのちとくらし第一の市議会実現が必要です。大軍拡・大增税の岸田内閣のもとで、名古屋市の役割は「国の悪政の防波堤」です。市議選(定数68)は、①河村与党の減税か、②市長予算案賛成の「補完勢力」の自・公・民(立憲と国民)か、③河村市長と正面对決し市民要求実現の力の共産党かの対決です。

日本共産党の名古屋市議選予定候補

カッコ内は定数 2月8日現在

 中区 (3) 石原 あいこ	 西区 (4) 加藤 ゆうき	 北区 (5) 岡田 ゆき子
 名東区 (5) 鈴木 あやこ	 千種区 (5) 酒井ケンタロー	 東区 (3) 1増 むらせ 和弘
 天白区 (5) 田口 かずと	 昭和区 (3) 柴田 たみお	 守山区 (5) くれまつ 順子
 中川区 (6) 1減 えがみ 博之	 港区 (4) 山口 きよあき	 緑区 (7) みつなか美由紀
 瑞穂区 (3) 田中 ともみち	 中村区 (4) 藤井 茂	 南区 (4) 高橋 ゆうすけ

名古屋市議会の政党対決の構図

河村市政に 正面对決 日本共産党	市政の基本的課題への態度で共通の立場 年度当初予算に賛成 国いいなりの政策推進 (病床削減など) 名古屋民主 (立憲 国民など旧民主系)	市長与党 市民犠牲 減税日本
	自民党 公明党	

リコール署名不正、「金メダル事件」など協力して市長を追及

コロナ・物価高騰

コロナ危機は依然深刻です。感染、重症者が続いている。杯飲んでカラオケ歌うところ、河村市長と作るのが基本的な方

「元気にみんなで一杯飲んでカラオケ歌うところ、河村市長と作るのが基本的な方」

生活守る緊急提案

共産党市議団は、「コロナ危機と物価高騰から市民の命と暮らしを守る緊急提案」を市長に申し入れました(右下)。

法と記者会見で発言する始末。PCR検査にも「感度が低い」と後ろ向きです。物価高騰が、暮らしを直撃しています。物価引き下げに最も有効なのが消費税の減税。共産党市議団は「減税」を標ぼうする河村市長は「消費税減税」を国に求めよ」と迫りました。市長は「市民

暮らしと営業守る共産党の緊急提案

- ① 保健所・保健センターと医療体制の抜本拡充
- ② PCR検査キット無料配布
- ③ 水道基本料金1年間無料
- ④ 国保料の引き下げ。子ども均等割免除
- ⑤ 介護保険料の値上げ前水準への引き下げ
- ⑥ 小学校給食無償化。中学校スクールランチの全員制給食転換と無償化
- ⑦ 奨学金返還支援制度を創設し、市内就職者に月額3万円を3年間支給
- ⑧ 市非正規職員の時給1500円以上。市発注事業で働く賃金も時給1500円以上
- ⑨ 省エネリフォーム支援制度の創設
- ⑩ 「ナゴヤ新型コロナウイルス感染症対策事業継続資金」の返済猶予と利子補給延長

共産党市議団は、「コロナ危機と物価高騰から市民の命と暮らしを守る緊急提案」を市長に申し入れました(右下)。

【3面に続く】